

## 小型無人機 ロードマップの個別分野への取組状況について

## ＜分野：測量＞（国土交通省）

## 1 これまでの活用状況

国土交通省では、3次元データ等を活用して建設現場の生産性向上を図るi-Constructionを推進しており、その中でマニュアルや積算基準等の整備・改定といった環境整備により、公共測量や施工時におけるUAV等を活用した面的な3次元測量を進めている。

例：

平成27年度 UAV（空中写真測量）を用いた公共測量マニュアル（案）や出来形管理要領及び監督・検査要領（案）を公表

平成29年度 UAV搭載型レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル（案）やUAV写真測量の積算基準を公表

## 2 今後の活用のあり方及び課題

引き続き、新技術の開発状況等を踏まえたマニュアルや積算基準等の整備・改定や、各種講習会等による人材育成によって、UAV等を活用した面的な3次元測量のための環境整備に努め、建設現場の生産性向上を推進する。

## 3 今後の取組方針（具体的なスケジュール等記載）

UAVレーザ測量の精度向上・作業時間短縮や、水中を透過して川底を測量できるグリーンレーザの活用に向けて、今年度から民間事業者の技術を募るオープンイノベーションによる技術開発を推進し、この成果を踏まえ、マニュアルや積算基準等の整備・改定を実施していく予定。